

2021年度 講義概要（シラバス）

科目名	平和インターンシップ
担当者	広島平和研究所 教授 水本 和実
履修時期	集中（前期）
履修対象	1・2年
授業形態	講義
授業の目的	<p>広島市周辺に存在する資料館、美術館、広島城をはじめ、平和や戦争、原爆被爆などについて学べる施設、史跡等に足を運び、実際に見学しながら専門家から講義を受けることで、平和に関する問題を多角的に学ぶ。</p> <p>また 2019 年からは平和を自ら創り出すことを主体的に学ぶため、NPO の専門家から「ピースクリエーター」について学び、さらに「平和とは何か」という根源的な問いに向き合うため、「自分の平和を PR してみよう」をテーマに、一分間のスマホ動画の政策を行う。</p>
到達目標	<p>広島市周辺の多様な資料館、施設、史跡、モニュメントに足を運び、専門家から学ぶことで、それらの沿革・由来・歴史や平和を考える上での意義を理解し、説明できる(普遍的教養)。</p> <p>平和を創り出す事の重要性を、自分の言葉で語れる（課題解決能力）。</p> <p>自分の考える「平和」を明確に表現でき、それをスマホを用いて1分間の動画にまとめることができる（専門的知識・技術・技能）</p>
受講要件	集中講義「広島からの平和学：実践の方法」と合わせて受講すると、学習がより深まるので、受講を勧めるが、特に受講の要件とはしない。
履修取消の可否	可
取消不可の理由	—
事前・事後学修	<p>（事前学修）インターンシップは、広島市周辺の資料館や施設等で実施するため、受講生はあらかじめ日程を確認し、施設や史跡に関する情報を主体的に調べておくこと。</p> <p>（事後学修）講義で得られた知識をさらに関連する文献等で確実なものとし、期末レポートにその成果をまとめる。その際、専門書を最低3冊以上読む事が求められる。</p>
授業内容	<p>I. ガイダンス（学内で4月始めに実施。学内掲示で確認すること）</p> <p>II. 「平和インターンシップ」</p> <p>5月から7月までの間の不定期の土曜日（一部日曜日の場合あり）の午後に計7回。1回約3時間。</p> <p>実施を予定している場所は以下のとおり。（順不同。あくまで予定。動画制作等を行う場合はサテライトキャンパスもありうる）。最終日時・場所はガイダンスおよび、各回の学内掲示や学内ウェブサイト「WebClass」などで必ず確認すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 広島平和記念資料館 2. 国立広島原爆死没者追悼平和祈念館 3. 広島市郷土資料館 4. 広島市現代美術館 5. 広島城 6. 放射線影響研究所 7. 広島市主催の核兵器に関する国際シンポジウム <p>III. まとめ：期末レポート提出</p> <p>昨年度の期末レポートの課題は「平和インターンシップで学んだこと」。講義を受ける中で、1) 自分の認識が改まったり、見方や考え方が大きく変わったりした点、2) 特に印象に残ったテーマや講義の内容、講師の研究・活動など、3) 初めて見聞きしたり体験したりしたこと、4) 最も感激したり感動したりしたこと、のいずれかを整理して書くという内容だった。今年も同じようなテーマになる予定。字数は2,000字程度。</p>

期末試験 実施の有無	実施しない
評価方法・基準	受講票・平常点（30%）、動画制作の過程および作品（30%）および期末レポート(40%) で評価する。
教科書等	必要な資料は毎回、講義で配布するほか、参考文献は適宜指示する。
担当者プロフィール	（水本）原爆・核兵器の問題および広島からの国際平和貢献活動などについて研究・実践しています。著書に『核は廃絶できるか』（単著、法律文化社）、『核軍縮不拡散の法と政治』（共著、信山社）、『平和政策』（共著、有斐閣）、『人道危機と国際介入』（共著、有信堂）、『21世紀の核軍縮』（共著、法律文化社）、『なぜ核はなくなるのか』『同 II』（共著、法律文化社）など。 研究室:情報科学部棟別館 4階 414号室
授業に関連する実務経験	担当者は広島平和研究所の研究者になる前は、新聞記者を16年間務め、盛岡、川崎、東京、ロサンゼルスなどに勤務した経験を持つ。
課題や試験に対する フィードバック	講義で毎回質疑の時間を設ける。レポートにも講評を伝える予定。
アクティブ・ラーニング	
キーワード	広島、平和、戦争遺跡、原爆、復興
備考	施設見学に際しては、施設の決まりや団体行動の規律を遵守すること。また、学外での講義のため、開催場所までの交通費は各自負担すること。講義の運営管理等の関係上、履修者数が多い場合は履修制限を行う場合がある（履修者数の上限の目安：40人）。履修制限を行う場合は、別途掲示等で連絡する。